

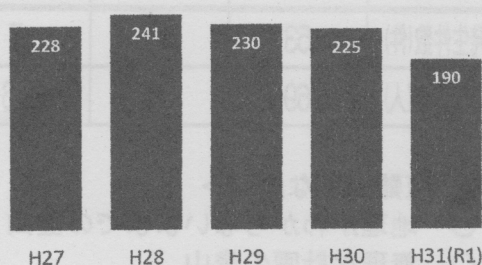


7月のお知らせ

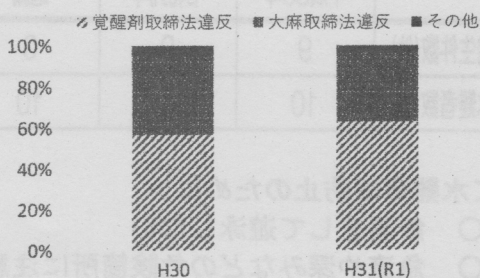
★ 薬物乱用防止対策の推進

政府が策定した「第五次薬物乱用防止五か年戦略」に基づき、関係機関と連携し、広く県民の皆さまに対して、覚醒剤や大麻等の薬物乱用の現状、薬物の危険性・有害性等に関する広報・啓発を行うことで、県民全体の規範意識の向上と、薬物乱用の未然防止に努めています。

＜薬物事犯検挙人員の推移(人)＞



＜罪名別検挙状況(%)＞



「1度だけ」という好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存症によって、自分の意思ではやめることができなくなります。絶対に手を出さないようにしましょう。

★ 夏期における少年の非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化

夏期は解放感から少年が家出・深夜はいかい等の不良行為や薬物乱用等の非行に走り易く、家出少年にあっては福祉犯等の被害に遭うケースが多くなることが予想されます。

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(主唱：内閣府)に合わせて少年非行及び犯罪被害を防止するための広報啓発活動を展開し、少年自身の規範意識の醸成を図るとともに、非行等を助長する有害環境の浄化を呼びかけています。

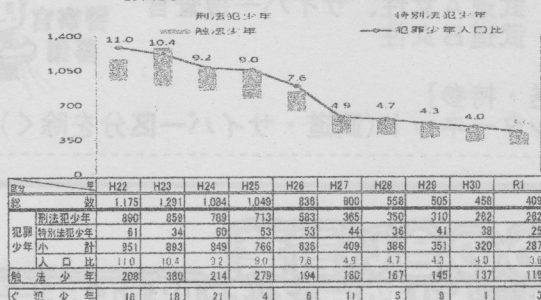
＜県内の少年非行概況について＞

令和元年中に県内で検挙・補導された非行少年は409人と、過去10年間で最少ですが、刑法犯少年の再犯者率は31.3%と、増加傾向です。

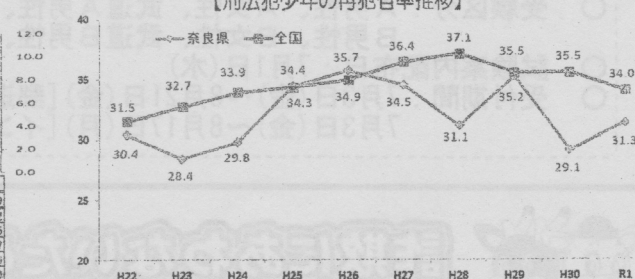
また、少年の福祉を害する犯罪により被害に遭った少年は64人と、前年より倍増しました。

インターネットで見知らぬ人と交流できるSNS等を通じて児童が事件に巻き込まれるケース、例えば「児童が自らを撮影した画像に伴う被害」が深刻化しています。

【非行少年の検挙・補導人員の推移】



【刑法犯少年の再犯者率推移】



☆ 夏期における水難・山岳遭難の防止

夏期(7月～8月)は水辺や山のレジャーに出かけることが多くなる季節ですが、水難・山岳遭難とも、年間の発生件数に占める同時期の発生件数の割合は、例年高いものとなっています。

特に、水難は年間に発生する子供の水難の約半数が夏期に集中しています。
夏期における水難・山岳遭難を未然に防ぐため、広く注意を呼びかけています。

<水難事故発生状況>

	平成30年	令和元年	増減
発生件数(件)	9	9	0
水難者数(人)	10	20	10

<水難事故防止のために>

- 飲酒をして遊泳しない
- 急流や深みなどの危険箇所に注意
- 自分の泳ぐ力を過信しない
- 危険箇所での遊泳・岩場からの飛び込みは絶対しない
- 天候が悪化したら遊泳を中止する
- ダムの放流時は急な増水に注意し遊泳を中止する
- 子供だけで遊ばせない

<山岳遭難発生状況>

	平成30年	令和元年	増減
発生件数(件)	53	46	-7
遭難者数(人)	69	53	-16

<山岳遭難の主な原因>

- 地理がわからないままでの登山
- 無理な計画の登山
- 装備が不十分

<命を守る3要件+1>

- 無理のない計画と引き返す勇氣
- 十分な装備と食料の準備
- 通信手段の確保
- + 「登山届」の提出



☆ 令和2年度警察官採用試験の実施

新型コロナウイルスの蔓延により、第1回目の試験が中止となりました。例年以上に厳しい採用情勢の中、一人でも多くの優秀な人材を獲得できるよう、警察官の職務の特性ややりがい、県警のアピールポイント等を中心に、広く若者に対して採用試験への受験を呼びかけています。

<令和2年度警察官採用試験実施計画(抜粋)>

- 受験区分：A男性、A女性、武道A男性、武道A女性、サイバー捜査官B男性、B女性、武道B男性、武道B女性
- 試験案内配布日：7月1日(水)
- 受付期間：7月3日(金)～8月21日(金)[郵送・持参]
7月3日(金)～8月17日(月)[インターネット(武道・サイバー区分を除く)]



**詐欺にあわないための合い言葉
渡すなキャッシュカード! 教えるな暗証番号!**